



当社のビジョンとデータ利活用

株式会社マネーフォワード
取締役執行役員
Fintech研究所長 瀧 俊雄

2018.9.25

個人のお金の悩みや不安の解消、事業者の経営改善に貢献し、日本でNo.1の「お金のプラットフォーム」になることを目指しています。

Mission

お金を前へ。
人生をもっと前へ。

Vision

すべての人の
「お金のプラットフォーム」
になる。

Value

User Focus
Technology Driven
Fairness

「お金」は、人生においてツールでしかありません。
しかし「お金」とは、自身と家族の身を守るため、また夢を実現するために必要不可欠な存在でもあります。
私たちは「お金と前向きに向き合い、可能性を広げることができる」サービスを提供することにより、ユーザーの人生を飛躍的に豊かにすることで、より良い社会創りに貢献していきます。

BtoC(個人向け)・BtoB(法人向け)の両領域でサービスラインナップを拡充。

BtoC領域

PFM^{*1}サービス



自動家計簿・資産管理サービス



くらしの経済メディア



金融サービスの比較・申込みプラットフォーム

BtoB領域

MFクラウドサービス



事業者向けSaaS^{*2}型サービスプラットフォーム

- MFクラウド 会計
- MFクラウド 確定申告
- MFクラウド 請求書
- MFクラウド 給与
- MFクラウド 経費
- MFクラウド 消込
- MFクラウド マイナンバー
- MFクラウド ファイナンス



自動記帳ソフト



経営分析クラウド

新規サービス



自動貯金アプリ



お金の相談窓口



企業間後払い決済サービス

*1 PFM : Personal Financial Managementの略称

*2 SaaS : Software as a Serviceの略称

自動家計簿・資産管理サービス『マネーフォワード』

3

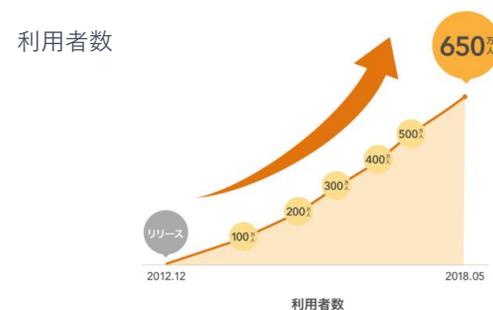
家計簿アプリシェアNo.1。利用者数は650万人を突破し、家計簿アプリ利用者の約4人に1人は『マネーフォワード』を利用。

対応数No.1(*) 2,650以上の金融関連サービスに対応。
口座一括管理で自動で家計簿作成

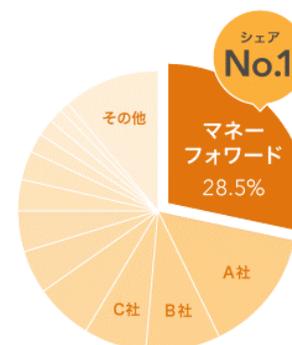


*自社調べ、2018年6月30日現在

利用者数およびシェア



シェア



出所：2017年03月23日～2017年3月27日、楽天リサーチ
「現在利用している家計簿アプリ」
調査対象者：20～60代家計簿アプリ利用者685名

難しく捉えられがちなお金の話を、読者が自分事とすることを目的としたメディア。お金を賢く使いこなすために、幅広い情報をお届け。



日々のくらし、人生を豊かにする「くらしの経済メディア」



金融サービスの比較・申込みプラットフォーム 『Money Forward MALL』

5

クレジットカードや証券口座など、あらゆるお金のサービスを比較・検討し、申し込みができるサービス



人生を楽しむ貯金アプリ『しらたま』

6

「日々の生活をもっと楽しく、ちょっとだけ贅沢に」（しら）ずにお金が（たま）る自動貯金アプリ。2018年5月にはAndroid版もリリース。



“未来のおかね”を学べるお店『mirai talk』

7

『mirai talk』1号店を新宿にオープン。『マネーフォワード』のデータと、FPの知見を組み合わせ、「お金の体質改善」を目指してライフプランや家計改善アドバイスを提供。

mirai talk

なぜか貯まらない
赤字家計から、
しっかり貯まる
かしこい家計に!

本気で家計を変えたい人へ。

新・貯まる家計養成プログラム

12万円以上の
家計改善を
保証! ※

※ 改善保証はスタンダードコース、コンプリートコースが対象です。初回家計診断でお客様ごとの改善保証額を決定します。保証内容および保証条件についてはお問い合わせください。

SaaSプラットフォーム『MFクラウドシリーズ』

8

バックオフィス業務における領域を包括的にカバーするサービスを提供する企業向けSaaS(*)型サービスプラットフォーム。



MFクラウド 会計・確定申告 / MFクラウド 請求書 / MFクラウド 給与 / MFクラウド マイナンバー

MFクラウド 消込 / MFクラウド 経費 / MFクラウド ファイナンス

クラウドコンピューティングの普及を背景に、これまで多額の初期投資を必要としていたシステムをSaaS形態で提供することで、小規模事業者から大企業まですべての事業者へITの恩恵をもたらします。

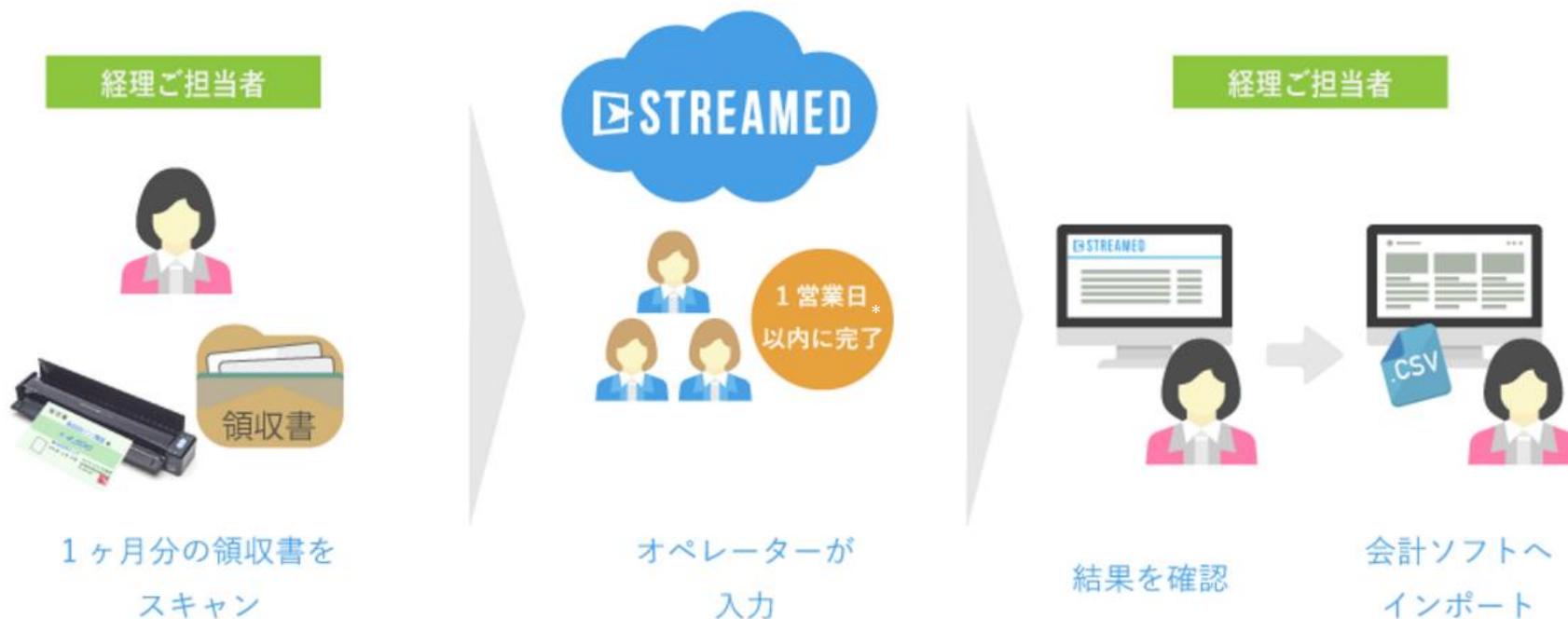
クラウド記帳サービス『STREAMED』

9

スキャナで領収書等の画像を取り込むだけで、オペレーターが正確かつ迅速にデータ入力するクラウド記帳サービス。
2017年11月にグループ化したクラビス社が提供。

取引データの収集

会計ソフトへの入力



*営業日の10時から19時依頼分が対象

企業の請求回収代行業務の完全なアウトソーシングと資金繰りの改善を実現するサービス。2017年6月リリース。

①請求内容の入力



利用企業様側で請求内容を入力。

②審査後、請求内容の確定



最短数秒で審査が完了し
入金金額・入金時期をお知らせ。

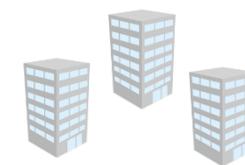
③請求書発行・送付



請求書の発行、
お取引先様へ送付も代行。



MF KESSAI



⑤売上入金・入金管理



入金期日に利用企業様へお支払い。
100%入金保証。早期入金にも対応。

④代金回収



MF KESSAIがお取引先様から
代金を回収。

(新規事業)マネーフォワードフィナンシャルの設立

11

ブロックチェーン・仮想通貨に関するサービスを提供予定の新会社を設立。
既存サービスと合わせて、より包括的にユーザーのニーズに応じていく。



知る
(メディア)

交換する
(交換所)

利用する
(送金・決済)

管理する
(資産管理)

申告する
(確定申告)

”AI融資審査モデル”の開発に着手。2019年春頃よりオンライン融資サービスを試験的に提供し、将来的な金融機関との協業を目指す。

会計・請求書データを活用した”AI融資審査モデル”を開発



API接続先金融機関数は順調に増加。『未来投資戦略2017』においては2020年までに80行以上の銀行におけるAPI導入が目標。

	金融機関名	開始時期
1	住信SBIネット銀行	2016年3月(個人・法人/参照系) 2017年3月(個人・法人/更新系)
2	静岡銀行	2016年4月(個人/参照系)
3	群馬銀行	2016年6月(個人/参照系) 2018年3月(法人/参照系)
4	みずほ銀行	2016年10月(法人/参照系) 2017年3月(法人/更新系)
5	セブン銀行	2017年1月(法人/参照系) 2017年11月(法人/更新系)
6	愛知銀行	2017年2月(個人・法人/参照系)
7	三井住友銀行	2017年3月(法人/参照系・更新系) 2017年7月(個人/参照系)
8	みなと銀行	2017年4月(法人/参照系)
9	ジャパンネット銀行	2017年8月(個人・法人/参照系)
10	みちのく銀行	2017年12月(個人/参照系)
11	三菱UFJ銀行	2018年2月(個人・法人/参照系) 2018年4月(法人/更新系)
12	栃木銀行	2018年3月(個人/参照系)
13	千葉銀行	2018年4月(個人/参照系)
14	北洋銀行	2018年4月(個人/参照系)
15	大光銀行	2018年5月(個人/参照系)
16	京葉銀行	2018年6月(個人/参照系)
17	伊予銀行	2018年7月(個人/参照系)
18	第四銀行	2018年7月(個人/参照系)
19	山口フィナンシャルグループ (山口銀行・もみじ銀行・北九州銀行)	2018年8月(個人/参照系)
20	じぶん銀行	2018年9月(個人/参照系)

『マネーフォワード for ○○』 『かんたん通帳』 の利用先がさらに拡大。

『マネーフォワード for ○○』 :
金融機関お客様向けマネーフォワードを開発



『かんたん通帳』 :
金融機関お客様向け通帳アプリを開発



『MFUnit』 シリーズ :
金融機関の既存アプリにPFMの各機能を提供



金融機関との連携強化(MFクラウドサービス)

15

北洋銀行のお客様向け確定申告サービスを提供開始。

『MFクラウドファイナンス』：MFクラウドのデータを活用し資金調達をスムーズに実現するサービス



『MFクラウド会計・確定申告for BANK』：金融機関のお客様向け会計・確定申告サービスを開発



よくある誤解

誤 データがあるからよいユーザー体験が提供できる

正 ユーザー体験が蓄積される過程で、データが蓄積される

誤 最先端の技術がユーザー体験を生む

正 新旧技術の組み合わせで、ユーザーペインの解決方法を模索している

誤 ITプラットフォームは〇〇サービスを不要とするのではないか

正 学習や努力を伴う行動変容を促すことは不得手

今後に向けて

- 個人の資産形成・安心を形成する行動変容とは
- ビジネスの持続的な収益向上につながる経営判断・働き方とは
- フロントエンドで顧客を深く理解し、ファーストステップを実現するサービスの提供とは
 - それは「金融」サービスである必要はあるか

Appendix



	持株比率	主な事業内容
マネーフォワード		PFMサービス、MFクラウドサービスの企画・開発・運営
クラビス	100%	クラウド記帳サービス『STREAMED』の企画・開発・運営
MF KESSAI	100%	企業間後払い決済サービス『MF KESSAI』の企画・開発・運営
MF HOSHO	100%	『MF KESSAI』事業における債務保証・信用調査の実施
mirai talk	90%	お金のスクール、ライフプラン診断事業『mirai talk』の企画・運営
マネーフォワードファイン	100%	AI融資審査モデルの開発
マネーフォワードフィナンシャル	100%	ブロックチェーン・仮想通貨関連事業の企画・運営・開発
ナレッジラボ	51%	経営分析クラウド『Manageboard』の企画・開発・運営、財務戦略コンサルの実施
ワクフリ	56%	クラウド活用サポート、バックオフィス業務改善コンサルの実施
Money Forward Vietnam	100%	サービス開発拠点

*ナレッジラボ、ワクフリは2018/11期 第3四半期より、Money Forward Vietnamは2019/11 第1四半期より連結開始予定。その他はすべて連結子会社。



辻 庸介(つじ ようすけ)

代表取締役社長 CEO

京都大学農学部を卒業後、ペンシルバニア大学ウォートン校MBA修了。ソニー株式会社、マネックス証券株式会社を経て、2012年に株式会社マネーフォワード設立。新経済連盟の幹事、経済産業省FinTech検討会合の委員も務める。

【受賞歴】

- 2014年1月 「日本起業家賞2014(The Entrepreneur Awards Japan = TEAJ)」で米国大使館賞受賞。
- 2014年2月 「ジャパンベンチャーアワード2014」にて、JVA審査委員長賞受賞。
- 2014年3月 「金融イノベーションビジネスカンファレンスFIBC2014」にて大賞受賞。
- 2016年11月 Forbes Japan「日本のベスト起業家ランキング」を2年連続受賞。
- 2016年12月 日経ビジネス「2017年日本に最も影響を与える100人」として選出。
- 2018年2月 「第4回日本ベンチャー大賞」にて審査委員会特別賞受賞。

金融 x IT に深い知見ある経営陣。



瀧 俊雄

取締役執行役員
マネーフォワードFintech研究所長

慶應義塾大学経済学部卒業後、野村證券株式会社入社。野村資本市場研究所にて、家計行動、年金制度、金融機関ビジネスモデル等の研究に従事。スタンフォード大学MBA修了。2012年に株式会社マネーフォワード取締役に就任。2016年4月金融庁「フィンテック・ベンチャーに関する有識者会議」にメンバーとして参加。



都築 貴之

取締役執行役員

横浜国立大学大学院工学部電子情報工学専攻修了後、ソニー株式会社入社。5GHz帯無線LANルータ開発、PlayStationシリーズ向けコンテンツ配信サービス立ち上げ、著作権保護システム開発、製品セキュリティ対策業務等に従事。2013年に株式会社マネーフォワード取締役に就任。



市川 貴志

取締役執行役員 CISO

マネックスグループ株式会社にて証券取引システムの開発・運用、子会社合併等の各種プロジェクトマネジメントを担当。その後、大手金融システム開発会社にて、インフラ部門の責任者として為替証拠金取引サイトの新規構築に従事。2012年に株式会社マネーフォワード入社。2017年に取締役に就任。



金坂 直哉

取締役執行役員 CFO

東京大学経済学部卒業。ゴールドマン・サックス証券株式会社の東京オフィス、サンフランシスコオフィスにて、テクノロジー・金融業界を中心にクロスボーダーM&Aや資金調達のアドバイザー業務、投資先企業の価値向上業務に従事。2014年に株式会社マネーフォワード入社。2017年に取締役に就任。



中出 匠哉

取締役執行役員 CTO

2001年ジュピターショップチャンネル株式会社に入社。ITマネージャーとしてCRMシステムの開発等を統括。2007年、シンプレクス株式会社に入社し、証券会社向け株式トレーディングシステムの開発等に注力。2015年に株式会社マネーフォワードに入社し、Financialシステムの開発に従事。2016年にCTO、2018年に取締役に就任。



坂 裕和

取締役執行役員 管理本部長

2001年早稲田大学社会科学部卒業後、国際証券にて2年間営業職に従事。青山学院大学法科大学院を卒業し、2008年弁護士登録。2009年SBI証券入社。法務部を経て、経営企画部にて全社プロジェクトの推進・管理を担当。2012年SBIマネープラザの立ち上げを担当し、同社の管理部門管掌取締役に就任。2016年1月に当社入社。2018年に取締役に就任。

日本有数の知見を誇る社外取締役・顧問を招聘。



車谷 暢昭

社外取締役
株式会社東芝 取締役、代表執行役会長CEO

株式会社三井銀行に入学。株式会社三井住友フィナンシャルグループ副社長執行役員、株式会社三井住友銀行代表取締役兼副頭取執行役員に就任。2017年にシーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社代表取締役兼共同代表に就任。2018年に株式会社東芝 取締役、代表執行役会長CEOに就任。



森川 亮

顧問 (前 社外取締役)
C Channel株式会社 代表取締役社長

日本テレビ放送網株式会社、ソニー株式会社を経て、ハンゲームジャパン株式会社(現LINE株式会社)入社。2007年より代表取締役に就任。2015年C Channel株式会社を設立、代表取締役に就任。株式会社Ubicomホールディングス、株式会社LIFULLの社外取締役も務める。



田中 正明

社外取締役
PwC シニア グローバル アドバイザー

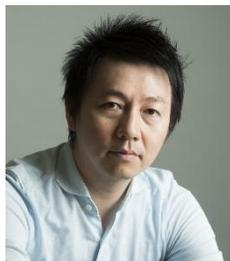
元三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役副社長。2011年から2015年までモルガンスタンレー取締役。「フィンテック・ベンチャーに関する有識者会議」等複数の政府系会議メンバー。2017年2月より金融庁参与に就任。



御立 尚資

顧問 (前 社外取締役)
ボストンコンサルティンググループ
シニア・アドバイザー

日本航空株式会社を経て、BCG入社。2006年から2013年までBCGグローバル経営会議メンバーを務める。楽天株式会社社外取締役、国連世界食糧計画WFP協会理事、京都大学経営管理大学院客員教授なども務める。



倉林 陽

社外取締役
Draper Nexus Venture Partners Managing Director

富士通株式会社・三井物産株式会社にて日米でのベンチャーキャピタル業務を担当後、Globespan Capital Partners及びSalesforce Venturesの日本投資責任者を歴任。2015年3月よりDraper Nexus Venture Partnersに参画しManaging Director就任。



春田 真

顧問
株式会社ベータカタリスト 代表取締役CEO

株式会社住友銀行に入学。その後、株式会社ディー・エヌ・エーに入社、常務取締役CFOを経て取締役会長に就任。DeNAの上場を主導するとともに大手企業とのJV設立や横浜DeNAベイスターズの買収等M&Aを推進。2015年に株式会社ベータカタリスト設立、代表取締役就任。

クラウド領域における積極的なM&Aの推進

2017年9月のIPO以降、M&Aを加速し3社を新たにグループ化。

	スキーム	時期	金額	サービス概要
	100% 取得	2017年 11月	8億円	クラウド記帳サービス『STREAMED』の提供。
	事業譲受	2017年 5月	非開示	『ネットde会計』及び『ネットde青色申告』ユーザーをMFクラウド会計・確定申告に移管。
	事業譲受	2018年 2月	非開示	『ハイブリッド会計Crew』及び『Crewシリーズ』ユーザーをMFクラウドシリーズに移管。
	51% 取得	2018年 7月	2億円	経営分析クラウド『Manageboard』の提供と、CFOアウトソーシング『財務戦略顧問』の提供。
	56% 取得	2018年 8月	非開示	クラウドサービスの導入支援。

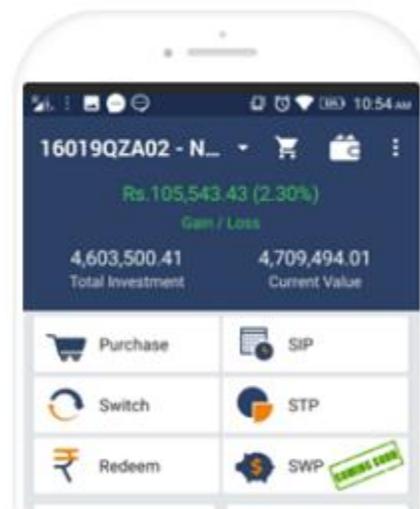
SLEEKR社が同業であるTalenta社をグループ化したことで、SLEEKRグループはインドネシアにおけるクラウドHR最大手に。当社は、成長資金とM&A資金を支援するため、追加出資を実施。



インドのPFM企業への出資(マネーフォワードファンド) 24

インド国内にて、資産管理・投資情報プラットフォーム『ORO Wealth』を提供するFintech企業 Alpha Fintech Pvt. Ltd.に新たに出資。

マネーフォワード、インドのFintechサービス『ORO Wealth』を提供する企業に出資



インドのPFM企業との協業を開始

グローバルなFintech企業へのネットワーク構築に向け、GMO Global Fintech Fundに戦略的パートナーとして参画。



Money Forward

ファンドの管理・運営

ファンド投資先企業の
発掘・事業連携